

2019年3月期 第2四半期決算説明会（質疑応答要旨）

1. 主要海外子会社の状況

Q. 主要子会社の業績を教えてください。

A. Tri-Arrows Aluminum Inc.（以下 TAA）は 2018 年度上期経常利益で 37 億円。UACJ（Thailand）Co., Ltd.（以下 UATH）は経常損益で△34 億円、Constellium-UACJ ABS LLC（以下 CUA）は持分法損益で△23 億円。

Q. UATH の直近の販売台数トレンドと利益水準についての感触は？

A. 2018 年度下期の平均月産販買量は 1.5 万トン想定している。損益はこれからの算出となる。

Q. CUA の量産立上げでの進捗は？減損リスクは？

A. 期末からは設備稼働率・歩留りに共に改善した。ただし、顧客ニーズに応えられるだけの操業度にはまだ達していない。減損リスクはない。

2. 連結業績関連・その他

Q. 経常利益の見通し 200 億円を据え置いているが、下期でどうやってリカバリーするのか？

A. 天災影響を受けた缶材を中心に期ズレの戻りが下期はある。液晶・半導体製造装置向け厚板の在庫調整が一巡する時期でもあるので、品種構成も下期は改善する。よって、年間予想は据え置いた。

Q. 天災（西日本豪雨等）による損益の影響は？品種的には？

A. 天災ごとに紐づけての損益分析はしてない。一番影響を受けたのは缶材。

Q. ロールマージン改定効果は？収益への効果はすべて 2018 年度下期なのか？

A. 半分のお客様とロールマージン改定に合意できている。
収益貢献は全て 2018 年度下期から。

以上

◆将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

◆著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社 UACJ に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。